

児童学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

児童学科では、「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域からなる児童学の先端的な専門的知識に基づき、18歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材の育成を目指す。児童学科における学修の成果として、以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとする。

- DP1 児童学の先端的な研究方法や「発達」「創造・文化」「社会・臨床」の3つの各領域についての専門的知識を身につけ、子どもについて多角的に理解することができる。
【大学 DP1】
- DP2 子どもに関する現代的課題や社会的ニーズを把握し、子どもや子どもを取り巻く環境を的確に分析することができる。【大学 DP2・DP3】
- DP3 家庭や地域における生活者としての子どもの育ちや環境をよりよくする目標達成のために、多職種の専門職と協働するための基礎力を身につけることができる。【大学 DP3・DP4】
- DP4 子どもの最善の利益を考えながら、子どもに関する課題の解決のために主体的に行動することができる。【大学 DP4・DP5】